

第2回災害BLSO研修会

主催：厚労科研「妊産婦・乳幼児を中心とした災害時要援護者の福祉避難所運営を含めた地域連携防災システム開発に関する研究（研究代表者：国立保健医療科学院 吉田穂波）」研究班

共催：NPO法人 周生期医療支援機構

日時：平成27年2月11日（祝） 午前9時～午後6時（予定）

場所：東京大学

参加費：無料

*託児あり（要申し込み）

申込み方法：※申込み受付は終了致しました。

参加申込先：ALS0-Japan事務局 jimu@also-japan.com

申込締切：平成27年1月5日（月）

推奨事項：以下の書籍の事前購入と予習

石巻災害医療の全記録 石井正 著 講談社 ブルーバックス

病院前救護のための産科救急トレーニング 新井隆成 監訳

今回の研修は、厚労科学研究「妊産婦・乳幼児を中心とした災害時要援護者の福祉避難所運営を含めた地域連携防災システム開発に関する研究（研究代表者：吉田穂波）」の助成を受けて行われるものである。

災害時妊産婦救護研修の開催概要（案）

1 ねらい

参加者が災害時等における母子救護に関する専門的知見を習得することにより、妊産婦・乳児救護所における安全な妊産婦及び乳児の管理を支える人材の育成とスキルアップができる。

また、参加者が危機管理に携わる実践型演習に産科することにより、地域との連携、危機管理能力向上及び災害時の避難所等における妊産婦・乳児への対応能力を向上させることができる。

2 目標

参加者は、災害時等における行政・消防・警察をはじめとする地域連携法について学ぶとともに、HUGを通じ災害時等の妊産婦把握と救護の流れを把握し、避難所等の管理や対応能力を向上させるとともに、平時から関係者と適切に連携するための基本的知識を体系的・実践的に身につける。経験の蓄積と継承、そして地域に持ち帰って災害時次世代救護の取り組みを展開できるリーダーを育成する。

3 研修の内容

経験豊富な講師によるナレッジシェアとHUG(避難所運営ゲーム)によるシミュレーション研修。各班で災害発生後の動きや妊婦・乳幼児対応等についての検討を行う。

4 研修の概要

(1) 日時 平成27年2月11日(祝) 9:00~17:00

(2) 場所 東京大学医学部3号館 1階 N101
〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_04_j.html
電話 03-3812-2111(代表)

(3) スケジュール(予定)

9:00 オープニング(恵寿総合病院産婦人科 新井隆成先生)

9:15 - 9:45 災害時の基本:CSCATTT(独立行政法人国立病院機構災害医療センター臨床研究部 鶴和美穂先生)

9:55 - 10:25 災害医学総論(兵庫医科大学 救急・災害医学講座 中尾博之先生)

10:25 - 10:55 東日本大震災における妊産婦の足取り(東北メディカルメガバンク機構 菅原準一先生)

10:55 - 11:25 大災害時に実際に有効だった様々な連携について(公益財団法人東京防災救急協会 野口英一先生)

11:25 - 11:55 北区における妊産婦救護所プロジェクト(北区危機管理室防災課 佐藤隆彦先生)

11:55 - 12:45 ランチョンセミナー(災害時の非常食試食など:NPO法人ママプラグ理事 ロー紀子先生)

12:45 - 13:15 地域医療保健行政における連携作り(高知県健康政策部健康対策課 福永一郎先生)

13:15 - 13:45 災害時周産期コーディネートの在り方(高知県立幡多けんみん病院 渡邊理史先生)

14:00 - 16:00 HUG(避難所運営ゲームおよびグループディスカッション)(国立保健医療科学院 吉田穂波)

16:00 - 16:40 ディブリーフィングと討論「次の災害時に、私たちは妊産婦から何を求められるか、その内容と人材育成のあり方」（恵寿総合病院産婦人科 新井隆成先生）

16:40 - 17:00 まとめ／アンケート記入

5 推奨事項：以下の書籍の予習

①石巻災害医療の全記録 石井 正著 講談社 ブルーバックス

②病院前救護のための産科救急トレーニング 新井隆成監訳 中外医学社

③厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）「妊産婦・乳幼児を中心とした災害時要援護者の福祉避難所運営を含めた地域連携防災システム開発に関する研究」平成 25 年度報告書（研究代表者：吉田穂波、平成 25～27 年度）＊下記よりダウンロード可能＊

<https://cloud.niph.go.jp/fileshare/download?file=v8BrC3nEE7fUGLkr6euy>

6 受講者（予定）

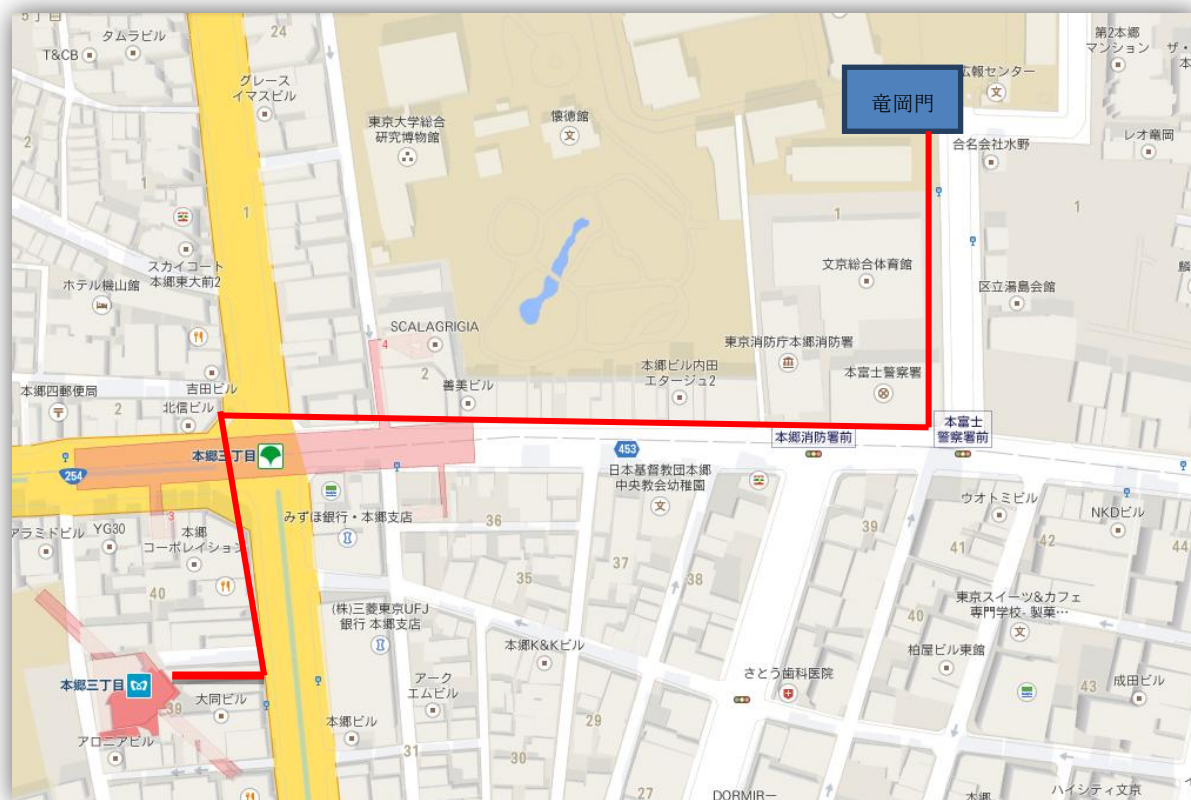
助産師、医師（産科医、災害医療医師、救急医師、小児科医、公衆衛生医師）、行政官

7 受講料：無料 交通費・食費・宿泊費：各自負担

8 連絡先：国立保健医療科学院 生涯健康研究部 吉田穂波（携帯080-3598-0104）
東京大学大学院医学系研究科 母性看護学・助産学分野 春名めぐみ

本郷三丁目駅（丸の内線）から東大竜岡門まで

本郷三丁目（丸の内線）駅から“東京大学医学部附属病院はこちら”と書かれている方向へお進みください。本郷三丁目の交差点を春日通り方向へ折れ、本富士警察署前の信号で左折し、直進して下さい。竜岡門が見えてきます。



東大竜岡門から医学部3号館まで



1：東京大学本郷キャンパス竜岡門

竜岡門に着きましたら、門をくぐります。門の左に守衛所があります。右に広報センターとその奥にローソンがありますので、飲食物を買われる方はこちらでどうぞ。



2：竜岡門⇒左側直進⇒本部棟脇を通る

竜岡門をくぐって左側の歩道を進みます。左手に駐車場と本部棟を見ながら直進します。



3：本部棟の建物の角を左折 (案内人が立っています)

左に見えていた本部棟の建物の壁面が途切れるところで、その角を左折し直進します。

4：直進しながら見える風景
直進すると、左に第2本部棟、棟の煙突が見えてきます。



右に生物科学実験



5：そのまま直進⇒医学部3号館

さらに直進すると、左に医学部3号館が見えてきます。建物の横に大きなバツテンの耐震補強の鉄骨が見えます。入り口はこの建物の真中にありますので、そのまま直進して下さい。入り口に案内人が立っています。こちらからお入りください。